

ごあいさつ

このたびは、東京ガスのガステーブルをお買い求めいただきましてありがとうございます。
お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
また、この取扱説明書のP.21が保証書になっています。保証書の内容もよくお読みいただき、大切に保管してください。

ガステーブル

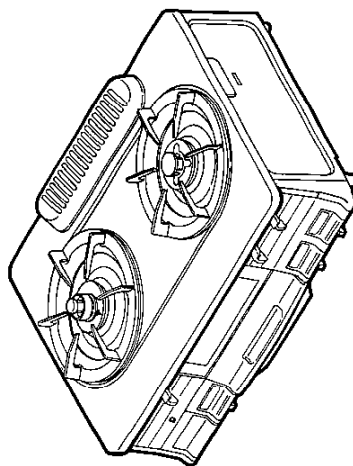
HR-A024P-HLA
HR-A024P-HRA

1712524
1714523

取扱説明書

保証書付

型式名
LG2201SLTG
LG2201SRTG



※図はHR-A024P-HLAタイプです。

もくじ

- 各部のなまえと特長(はたらき)..... 1
- 特に注意していただきたいこと..... 2~4
- 機器の設置..... 5~6
- お使いになる前に..... 7
- 点火・消火のしかた..... 8~9
- 点火ロックの使いかた..... 9
- 安全機能と使いかた..... 10
- 温度センサーと鍋..... 11~12
- 使用上のコツとご注意..... 13
- グリルを使うときは..... 14
- 点検・お手入れ..... 15~16
- 故障かな?と思ったら..... 17~18
- 仕様..... 19
- アフターサービス..... 20
- 保証書..... 21

特に注意していただきたいこと

お子様にご注意

- 特にお子様のいたずらには注意してあげてください。
- 機器をお使いにならないときは、ガス栓を閉じ、点検ロックつまみを「ロックの位置」にして、いたずら防止を行ってください。(詳しくは9ページをご覧ください。)

異常時・緊急時の処置

- 火だんとはまった状態になったときや地震など緊急の場合、次のようにしてください。
- 1 点検火ノ消火ボタンを「止の位置」にしてください。
- 2 ガス栓を閉じてください。
- 3 もよりの販売店か、「東京ガス」に連絡してください。

使用ガスについて

- 必ず銘板に表示してあるガス（ガスグループ）をお使いください。
- （銘板は機器右側に貼付けています。）

【ご注意】

• 表示してあるガス（ガスグループ）以外のガスでは、絶対に使わないでください。

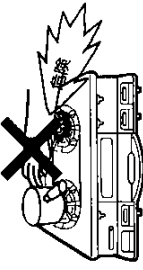
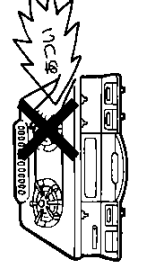
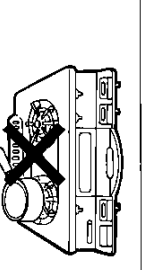
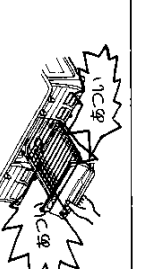
• かわらない場合は、お買い上げの販売店、またはよりの「東京ガス」に連絡してください。

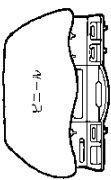
各部のなまえと特長(はたらき)




※図はHR-A024P-HLAです。HR-A024P-HRAはチャオバーナー・標準バーナーが左、右反対になります。

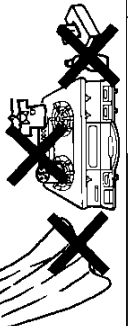
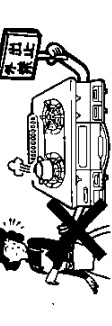
- ごとく** チャオバーナー(標準バーナー付バーナー) ねんぷり料理から中華料理まで、幅広い火力調節ができます。お好みで火力調節ができます。お好みで火力調節ができます。
- しる受け皿** グリル排気口カバー(グリル排気の熱に排気が出てくること) 標準バーナー
- トッププレート** 銘板(ガス種・型式を認識して) 板
- グリル焼網** グリル排気口カバー
- 電池確認ランプ** 電池確認ランプ(電池の残量が少なくなると点滅します。点滅したら早急に乾電池を新品に交換してください。)
- 電池ケースフタ** 電池ケースフタ(この中に電池が入っています。)
- チャオバーナー(標準バーナー付バーナー) 点火ノ消火ボタン** このボタンを押して、ガスノ消火させます。点火の位置では赤い表示が出ます。(点検サインマーク)
- グリルとびらガラス** グリルとびらガラス(グリルを引出すと、ガラスが取り出しやすくなっています。)
- グリルとびら取っ手** グリルとびら取っ手
- グリルバーナー 点火ノ消火ボタン** このボタンを押して、このボタンを押して、点火ノ消火させます。点火の位置では赤い表示が出ます。(点検サインマーク)
- 標準バーナー 点火ノ消火ボタン** このボタンを押して、このボタンを押して、点火ノ消火させます。点火の位置では赤い表示が出ます。(点検サインマーク)
- グリル水入れ皿** グリル水入れ皿(グリル調理の際に水を入れる皿です。)
- グリル火力調節つまみ** グリル火力調節つまみ(このつまみで火力調節ができます。)
- 点検ロックつまみ** 点検ロックつまみ(お子様のいたずら防止などに利用します。)


特に注意していただきたいこと

やけど防止のために	
	<p>・炎のそばへは、衣服のそばや口をもついたりしないでください。</p> <p>・衣類が燃えたり、やけどのおそれがあります。</p>
	<p>・コンロ使用中、および使用直後はトッププレート、ごとくなどの周辺が高熱になっていますので、手を触れないでください。</p> <p>・特に小さなお子様のいるご家庭では注意してください。やけどをずるおそれがあります。</p>
	<p>・グリル使用時は、グリル排気口から高温の排気熱が出ますので顔など近づけないでください。</p> <p>・なべの取っ手をグリル排気口へ向けないでください。</p>
	<p>・やけどをしたり、なべの取っ手などが変形するおそれがあります。</p> <p>・グリル使用中、および使用直後は、トッププレート、グリル排気口カバー、グリルとびらなどの周辺が高熱になっています。</p> <p>・グリル内の魚を取り出すときは、グリルとびら取っ手以外には手を触れないように注意してください。</p> <p>・やけどをずるおそれがあります。</p>

長期間お使用にならないとき	
	<p>・ガス栓を閉じてください。</p> <p>・各部の汚れを取り除き、ほこりや異物などが入らないようにビニールなどをかけて、湿気やほこりに注意してください。</p> <p>・乾電池を電池ケースより抜いてください。</p> <p>・乾電池の液もれにより、機器をいためることがあります。</p>

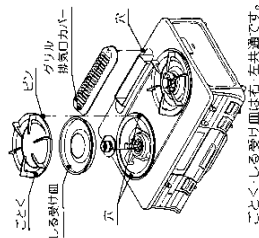
ガス事故防止のために	
	<p>・使用後は必ず薪火を確かめてからガス栓を閉じてください。</p> <p>・寝落ち時、外出時必ずガス栓を閉じてください。</p>
	<p>・万一ガスもれに気づいたときは、すぐにガス栓を閉じ、窓や戸を開けてガスを身へ出してから、もよりの販売店か「東京ガス」に連絡してください。</p> <p>・ガスもれに気づいたら、絶対に換気扇をまわさないでください。</p>
	<p>ご注意</p> <p>・ガスもれに気づいた時は、絶対に火をつけたり電気器具のスイッチの入切や電源プラグの抜き差し、および周辺の電話などお使いにならないでください。火や火花で引火し、爆発事故をおこすことがあります。</p>

火災防止のために	
	<p>・燃焼のトや周囲に燃えやすいもの、落下のおそれのある物や引火性のものなどを置かないでください。</p> <p>・グリル使用中は可燃されている排気口カバーなどでグリル排気口をおおわないでください。</p> <p>・衣類の乾燥や湯気の火おこしなどに使わないでください。</p> <p>・燃焼・火災のおそれがあります。</p>
	<p>・火をつけたまま薪や外出をしないでください。</p> <p>・火をつけたまま薪が燃え尽きたりしないでください。</p> <p>・特に揚げ物のときや、グリル使用中は危険です。</p> <p>・グリルはご使用のためにお手入れをしてください。</p> <p>・たまった薪に引火するおそれがあります。</p>

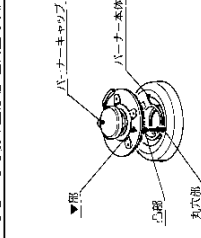
不完全燃焼防止のために	
	<p>・使用中は換気扇をまわすなど、換気を行ってください。</p> <p>・一酸化炭素中毒のおそれがあります。</p>
	<p>・コンロをおおってしまうような補助具や大きな鉄板、なべ(30cm以上)、焼網などは使わないでください。</p> <p>・可燃されているアルミはく軋する受け皿は、お使いにならないでください。</p> <p>・一酸化炭素中毒・異常燃焼・火災・機器故障のおそれがあります。</p>

機器の設置

設置前の準備



- 包装部材の除去と部品の取り付け
- 各部の包装部材を取り除き、左図のように正しくセットします。
- ここでは、下部の下側にあるピン(クランプ)をトッププレートのはめ、グリル排気口カバーは後部のツス(2ヶ所)をトッププレートの穴にはめます。

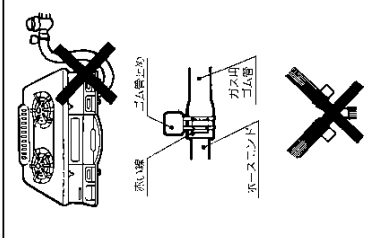


- バーナーキャップの取り付け(セット方法)
- ①バーナーキャップは▼部の下側にある凸部と丸立部をはめ込み確実にセットしてください。
- ②しる要付血の中へおさめてください。
- ③ここをのせてください。

ご注意

- チャオ(温度センサー)付バーナー用と標準バーナー用のバーナーキャップは形が異なります。
- バーナーキャップの取り付け、取りはずしの際は、温度センサーにシヨツクを与えたり、キズをつけたりしないでください。
- バーナーキャップを正しくセットしなかった場合、点火しなかったり炎が不均一になり、燃焼が煩雑するおそれがあります。

ゴム管の接続



- ゴム管はガス用ゴム管を使ってください。
- ホースエンドの活けやごみを取り除いてください。
- ゴム管は赤い線まで差し込み、ゴム管止めで確実に止めてください。
- ゴム管はグリル排気口の上を通さないでください。
- ゴム管は機器の下を通さないでください。
- ゴム管は機器や他の高温部に触れないようにしてください。
- ゴム管の折れ、ねじれの無いようにしてください。
- ゴム管の巻き直しや二又分岐はしないでください。
- ゴム管はできるだけ短くして(2 m以下で適当にゆとりをもたせ)お使いくください。
- ゴム部にヒビ割れなどがなければ、ときどき点検してください。

ご注意

- ガス用ゴム管が機器に触れたまま使用されますと、機器に熱れた部分の劣化が速くなり、ガス用ゴム管がひび割れ、ガスおそれの原因となります。
- ゴム管の巻き直しや二又分岐をするとガス圧力が低下し、性能が確保されない原因となります。

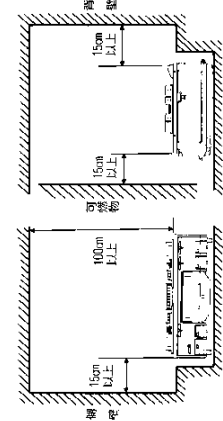
機器の設置

設置場所 (設置場所は次の条件をすべて満たしている所に設置してください。)

- 機器の上や周囲に燃えやすいものや落下のおそれのある物を置かないでください。
- 焼損・火災の恐れがあります。
- 強い風が吹き込まない所 (風で火が吹き消される場合があります)。
- 水や熱のかからない所
- チャオバーナー側を壁側には絶対には設置しないでください。

●周囲の防火措置

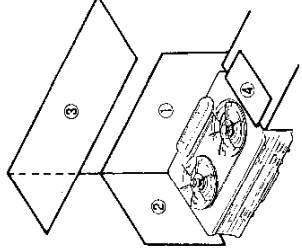
(周囲が不燃性の壁でない場合)



- 設置場所の周辺が不燃性の壁でない場合 (木製の壁や、可燃物の壁などにタイルなど貼っている場合など) は、機器を必ず離して設置し、お使いください。
- 壁(側面・背面・前面)から15cm以上離す。
- 天井(吊りたななど)から100cm以上離す。

- 壁から上記距離距離がとれない場合は、必ず、東京ガス指定の高熱板(別添品)を取り付けて防火措置を行ってください。
- 東京ガス指定の高熱板以外は絶対に使用しないでください。
- 防熱板は4種類(下記表参照)用意しております。お求めは、お買い求めの販売店、またはもよりの「東京ガス」(別紙事業所一覧)にご連絡ください。
- 防熱板の取り付けは、別添品の防熱板取り付け説明書に記載されています。取付説明書に従って、正しく取り付けを行ってください。

別添防熱板の種類 (ステンレス製0.5mm)				
コード番号	高さ(mm)	幅(mm)	厚(mm)	
1	LP0105	360	600	0.5
2	LP0106	360	505	0.5
3	LP0107	550	900	0.5
4	LP0108	100	900	0.5



HR-A024P-HLA<LG2201SLTG>
HR-A024P-HRA<LG2201SRTG>

1 7 1 2 5 2 4
1 7 1 4 5 2 3 13051

点火・消火のしかた (コンロ・グリル部)

確認! ……▶ ガス栓が開いていることを確認してください。

1. 点火

ロック解除

ロック解除

点火前の位置 (止の位置)

点火中の位置

点火後の位置

点火サインマーク

点火サインマークが青色に変わります。

お願い!

- 点火/消火ボタンの下側にある点火ロックつまみがロックの位置にあるときは、ロックを解除してください。
- 点火/消火ボタンを止まるまでいっばいに数秒間押し続けてください。
「パチパチ」とスパーキングしてバーナーに点火します。
※チャオ(強度センサー)がバーナー(付バーナー)で点火できなかつた場合は、ブザー音(ピー)でお知らせします。

お願い!

万一点火しないときは点火/消火ボタンから手を離し、再度押し込み(止の位置)に戻してから、もう一度同じ操作をくり返してください。

メモ

- 同時点火方式です。1ヶ所の点火操作ですべての点火装置が「パチパチ」とスパーキングします。
- 点火時炎が大きくなりますが、点火後手を離すと火力調節つまみに表示している火力に落ちます。
- 火力調節つまみを弱火の位置にあるときに点火/消火ボタンを押すと火力調節つまみが強火の方向に移動します。強火を使用するときは、点火したあとで調節してください。(コンロバーナーのみ)

お願い!

- バーナーの点火および全周に火移りしたことを確かめてから手を離してください。

(例) コンロバーナーの場合

お願い!

- 点火中、点火後は点火サインマークが青色に変わります。
- バーナーと点火/消火ボタンの位置を確認の上、操作を行ってください。
- 配管内に空気が入っていて点火しにくいときは、空気が抜けるまで点火操作をくり返してください。

メモ

- 点火の際は、ごときくやくかんやなべをのせると点火がよりスムーズです。

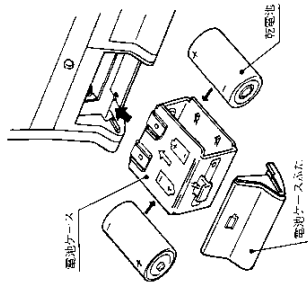
お使いになる前に

1. ガス栓を開く

すべての点火/消火ボタンが「止の位置」にあることを確かめてから、機器が接続されているガス栓を全開にしてください。

2. 乾電池の取り付け・取りはずし 乾電池は単一(1.5V)2個使用です。

- 機器左下部の電池ケースふたを手前に引き、取りはずしてください。
- 乾電池を図のように電池ケースに入れ、矢印の方向に従って極端に組み込み込んでください。
(乾電池の①②をまちがえないようにしてください。)
- 電池ケースふたを元のとおりに差し込んでください。
- 乾電池の交換も同じ手順で行ってください。



メモ

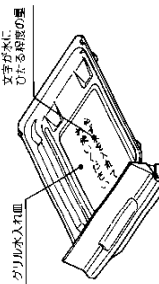
乾電池が消耗してきたら、チャオバーナー使用時に電池確認ランプが点滅しますので、早急に新しい乾電池と交換してください。
さらに乾電池が消耗してくると、電池確認ランプが点灯し、点灯しなくなります。
標準バーナーおよびグリルバーナーは持ちますがリチウムイオン蓄電池の寿命が1秒間を超えてしまうと、新しい乾電池と交換してください。

3. グリルから焼き グリルの点火方法は8ページをご覧ください。

- 初めてグリルを使うときには、グリル水入れ面にコップ1杯分(約500ml)の水を入れ、15分程度のから焼きをしてください。
- グリルをから焼きするときは、機器から離れないでください。

メモ

- グリル内の温度についての油を焼ききるためです。
- 煙とにおいが出ますが、異常ではありません。



安全機能と使いかた

安全機能について
バーナーの位置については1ページの「各部のなまえと特徴(はたらき)」をご覧ください。

標準バーナー・グリルバーナー

立消え安全装置 煮こぼれや風などで火が消えたら自動的にガスを止めます。
※火が消えて完全にガスが止まるまで数秒かかります。

チャオバーナー(温度センサー付バーナー)
煮こぼれや風などで火が消えたら自動的にガスを止め、同時にブザー音(ピー)でお知らせします。
※火が消えてガスが止まるまで数秒かかります。

焦げつき消火機能 煮ものなどの料理が焦げつくと自動的に火を消します。

天ぷら油過熱防止機能 油の温度が高くなりすぎると(約250℃以上)自動的に火を消します。

コンロ安全タイマー 点火後約2時間経過すると自動的に火を消します。
※火が消えると同時にガスが止まり、ブザー音(ピー)でお知らせします。
※火が消えたときは、点火ノブボタンを「止」位置にしてください。

ご注意
天ぷら油過熱防止機能がはたらいた場合、鍋や油の温度が相当高くなっていますので、やけどには十分にご注意ください。

お願い
・立消え安全装置に煮こぼれや水滴がついたときは、機器がひびくときやにきびにふき取ってください。
・立消え安全装置に硬いものをぶつけないでください。(点火不良の原因になります。)

メモ
焦げつき消火機能がはたらいた場合、火力や油の温度および料理の種類によって、焦げつき程度は異なります。

揚げもの調理時の注意

- ・揚げもの調理をされるときは、温度センサー(天ぷら油過熱防止機能)のついているチャオバーナーを使用してください。
- ・チャオバーナーは、トッププレート・点火ノブボタンとの近くに「揚げもの用」と表示してあります。
- ・天ぷら、フライなどの揚げものの調理するときは、200ml(コップ1杯)以上の油で使ってください。油が少なすぎると、機能が正しくはたらかないことがあります。油が多すぎると、まれに温度が高くなりすぎて自動的に火が消えることがあります。そのときは再度火をつけてください。
- ・鍋の煙が油の壁によって自動消火したときの油の温度は異なります。詳しくは1ページの「温度センサーと鍋」をご覧ください。

点火・消火のしかた(コンロ・グリル部)・点火ロックの使いかた

2. 火力調節

コンロ部

- ・火力調節つまみを左右にスライドさせて火力を調節してください。
- ・火力調節つまみを「強」方向にスライドすると火力が強くなります。
- ・火力調節つまみを「弱」方向にスライドすると火力が弱くなります。

お願い
炎を見ながらゆっくり調節してください。

ご注意
なべによっては取っ手を燃やす恐れがありますので、必ず次の大きさと取っ手の位置を覚えて火力の調節をしてください。

お願い
・小さな窓でお使いのときは風などで吹き消えることがあります。時々火がついていることを確かめてください。
・煮こぼれはバーナーや機器を早くいためますので、適度の火力に調節してお使いください。

グリル部

- ・火力調節つまみを左右にスライドさせて火力を調節してください。
- ・火力調節つまみを「強」方向にスライドすると火力が強くなります。
- ・火力調節つまみを「弱」方向にスライドすると火力が弱くなります。

メモ
焼き物の種類に応じてお使いください。

3. 消火

点火サインマーク(赤色)

押す

使用中 点火サインマークの青色が消えます。

止の位置

ご注意 必ず、火が完全に消えたことを確認してください。

4. 点火ロックの使いかた

点火ロックつまみ

ロックの位置

- ・点火ノブボタンを「止の位置」の状態で点火ロックつまみを「ロックの位置」にスライドさせます。解除するときは、点火ロックつまみを「解除の位置」に戻してください。
- ・点火ロックとは……小さなお子様のいたずら防止や、使用しないときの安全のために点火ノブボタンをロックさせる機構です。

お願い

- ・点火後の位置「ロックの位置」へ動かさないでください。故障の原因となります。
- ・小さなお子様がいらっしゃるご家庭などでは、お使いにならないときは夜間のためにロック位置にしておいてください。

HR-A024P-HLA<LG2201SLTG>
HR-A024P-HRA<LG2201SRTG>

1 7 1
1 7 1

2 5 2 4
4 5 2 3

13071

温度センサーと鍋

鍋の種類と材質		煮ものなどの天ぷら・フライ等 一般料理 揚げもの料理	備考
アルミ		◎	熱の伝わりかたが適していますので、煮ものなどには最適です。
ホーロー		○	焦げつき消火機能がはたらいたときの焦げつきはアルミ鍋より少しきつめになります。
鉄製の鍋 フライパン		○	白玉焼きなどをするときは1分程度予熱してください。予熱時間が長すぎたり短すぎたりすると、安全機能がはたらかず消火する場合があります。
フッ素加工 フライパン		○	中華鍋を使用されるときは、温度センサーのあたりに注意してください。(P.11)
中華鍋		○	水量が極端に少ないゆでものや、焼きもの料理(ペーパードボット)などを調理中に、途中消火する重があります。この場合、中華センサーをお使いください。(ただし、焦げつき消火機能ははたらきません。)
ステンレス(無水鍋)		△	保潔性が良く適しています。
厚手		○	熱の伝わりかたが判いので、油もの料理には適しています。
ステンレス(薄手底2mm未満)		○	鍋底の凹凸の大きいものは使えません。
打ち出し鍋		○	熱の伝わりかたが重く、焦げつき消火機能がはたらいたときの焦げつきが少しきつめになります。油もの料理には適していません。
土鍋		○	圧力鍋の種類や料理(カレー、ジャムなど)によっては、焦げつき消火機能ははたらいて途中消火したり、はたらいたときの焦げつきが少しきつめになることがあります。
超耐熱ガラス容器		○	途中消火するようになっている中華センサーをお使いください。(ただし焦げつき消火機能ははたらきません。)
圧力鍋		○	

温度センサーの注意

- 温度センサーに強いショックを加えたり、キズをつけたりしないでください。
- 温度センサーの汚れは、きれいにふき取り、1つもきれいにしてください。16ペーシ「取扱 お手入れ」をご確認ください。

正しい鍋のせかた

お願い

- 温度センサーが鍋底に必ず密着するようにつけてください。
- 温度センサーは鍋底温度をキヤッチしますので、密着が不十分だと安全機能が正しくはたらかない場合があります。
- 鍋の重さは、密着を確実にするため300g以上(調理物の重さを含む)が必要です。とくに片手鍋などは不安定なので注視してください。
- 鍋の底はきれいにし、水気はふき取ってください。

正しく温度センサーがはたらくには

- 温度センサーと鍋底の間に異物がこないこと。
- 温度センサーと鍋底にすきまがないこと。
- 温度センサーは鍋底の中心にあること。
- 鍋底は凹凸でないこと。

中華鍋について

- 中華鍋などの底の丸いものは、チャオ(温度センサー)付バーナーでお使いになると、まれに鍋底が不安定となり、温度センサーが正しくはたらかないときがあります。このような場合、別売の中華鍋用補助ごとくをご利用します。鍋が安定して使いやすくなります。
- 中華鍋用補助ごとくをご利用される場合も、鍋底と温度センサーが密着していることを確かめてからお使いください。

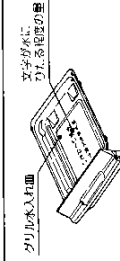
温度センサーと鍋

グリルを使うときは

お願い

初めてグリルを使うときは、必ずグリル水入れ皿に水を入れ、15分程度のから焼きをしてからお使いください。
(詳しくは7ページをご覧ください。)

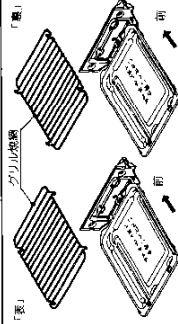
グリルを使うときは



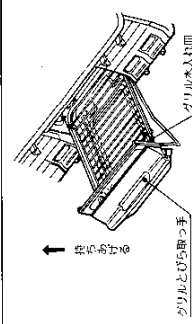
- グリル水入れ皿にコップ1.5杯分(約300ml)の水を必ず入れてください。
- 水を入れるときは、グリル水入れ皿を少し引き出してからコップなどを入れてください。

ご注意

- グリル水入れ皿に水を入れないでお使いになると火災のおそれがあります。
- グリル水入れ皿に水を入れてお使いになる場合でも表面に脂が多くなると飛び散ったり、燃えたりしますので、脂を取り除いて水を入れ替えてください。
- 焼けてお使いになる場合は水替に注意してください。(水が少ない場合は必ず水を補充してください。)
- グリル水入れ皿には水以外のものは入れないでください。



- グリル焼網の高さ調節をしてください。
- グリル焼網の高さを調節するときは、「表」→グリル焼網高さが低くなり、「裏」→グリル焼網高さが高くなります。
- 焼き物はグリル焼網に合った大きさに切り、グリル焼網のせて焼いてください。



- グリル水入れ皿の取り出しかた
- グリル水入れ皿のしまいかた

ご注意

- グリルとびらは網に当るまで閉めてください。網に閉まっていない場合は、熱気があふれ、やけどをする危険や、調理台の熱色、焼網および焼き物の焼け具合が異なる原因となりますので確実に閉めてください。
- 魚などの焼きすぎに注意してください。そのまま放置すると焦え、発火する危険があります。

メモ

- グリル水入れ皿はストッパーがついていて、手前に引き出すと止まります。
- グリルと、コンロを同時に使われますと、袋が赤色になることがあります。異常ではありません。

使用上のコツとご注意(コンロ部)

こんな調理は標準バーナーですべてください

- チャオバーナーは温度センサーが約200℃になると消火するようになっています。次のような高温・極端になる調理は途中で消火することがありますので、温度センサーのついていない標準バーナーをご使用ください。
- 炒めもの調理 (ワインナー炒めなど、から焼きに互い調理)
- 煎焼を使った調理 (めざし、すのめをあぶるなど)
- いりもの調理 (ごま、大豆など)
- 焼きもの調理 (お好み焼、たこ焼きなど)
- 炊飯
- 鍋などのから焼き
- 冷凍調理(凍ったまま)などの調理 (温度センサーが凍たなくなりすぎると、まれに点火しないことがあります)



予熱をチャオバーナーでする場合

- 目玉焼きなどの調理をするときは、1分間位予熱してください。(予熱時間が長すぎたり短すぎたりすると、安全機能がはたらいて消火する場合があります。)



カレー・ジャムなどの加熱をチャオバーナーでする場合

- カレー... ジャムをどトロミのあるものは、沸騰するまで鍋を動かさないでください。
- 水の少ないものは水を加えてください。
- 火力は中火位でご使用ください。
- 沸騰後は、とまどきまぎれて中味の濃度にムラがないようにしてください。



インスタント焼きそばなどをチャオバーナーでする場合

- 水を加えて水分が蒸発しても、さらに加熱を続けるような調理は、調理中に焦げつき消火機能がはたらいて消火することがありますので、加熱を続けたいときは再度点火をしてください。

点検・お手入れ

点検・お手入れ時の取りはずし・取り付け方法

点検・お手入れ箇所	取りはずし・取り付け方法
<p>・グリルとびら</p> <p>① 引っかけ金具 ② 止め爪 ③ 角穴 ④ 突起部</p>	<p>〈取りはずし方法〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. グリルとびら：グリル水入れ皿を引き出した状態で、テーブルに置きます。 2. (図1)の1のように引っかけ金具を上に向けて、グリル水入れ皿の角穴から引っかけ金具をはずした状態で、のようにグリル水入れ皿を向き出します。 3. (図2)のように片手でグリル水入れ皿を支えて、グリルとびら取っ手を3の方角に押さえながら止め爪を4の方向にはずして取りはずします。 <p>〈取り付け方法〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. (図3)の6のようにグリルとびら取っ手の角穴にグリル水入れ皿の突起部を差し込み6の方向へ「カチッ」と止まるまで押し込みます。
<p>・パーナーキャップ</p>	<p>〈取り付け方法〉</p> <p>パーナーキャップは▼部の下側に▼部にある凸部をはめ込み確実に取り付けてください。</p> <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パーナーキャップを正しくセットしなかった場合、点火しなかったり後が不均一になり、取組が焼焦するおそれがあります。

点検・お手入れ

ご注意

- ・「点検・お手入れ」は必ずガス栓を閉じ、機器が冷えてから行ってください。
- ・「点検・お手入れ」の際は、下記要領を行い、けがをしないように手袋などを行って行ってください。(下記に記載されていない箇所等、確信は絶対に分解しないでください。)

点検・お手入れ方法

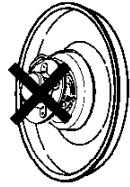
点検・お手入れ箇所	お手入れ方法	点検方法とご注意
<p>・トッププレート</p> <p>・ごとく</p> <p>・グリル排気口カバー</p> <p>・しる受け皿</p> <p>・グリル水入れ皿</p> <p>・グリルとびら (ガラス)</p> <p>・グリルとびら取っ手</p> <p>・グリル焼網</p>	<p>・乾いた布でよくふいてください。 (汚れが落ちにくいときは、中性洗剤で洗った後、乾いた布で十分水気をふき取ってください。)</p> <p>・グリル水入れ皿は、グリルとびら取っ手を取はずすと掃除しやすくなります。</p> <p>・(取りはずし方法は16ページの「グリルとびら」をご覧ください。)</p> <p>・グリルは使用時にお手入れしてください。</p>	<p>・グリル水入れ皿に脂がたまっていますか？</p> <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グリル水入れ皿に多量の脂がたまると、燃えたりします。 ・ガラスは、ミガキ砂や金属片、金属タワシなどでこすらないでください。 ・印刷がはげたり、キズをつけると割れやすくなります。
<p>・パーナーキャップ</p> <p>・温度センサー</p>	<p>・パーナーキャップのお手入れをされるときは必ず茶かめの凸ガラス (凸いも) ので良い。または柔らかいスポンジを使ってください。</p> <p>・水洗いをされた後は、必ず乾いた布で水気をふき取ってください。</p> <p>・特に濡れ部分を掃除してください。</p> <p>・温度センサーの取組はかたくしぼった布で汚れをふき取ってください。</p>	<p>・パーナーキャップが焦げなどで目づまりしていませんか？</p> <p>・温度センサーの取組が汚れていませんか？</p> <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目づまりや汚れをそのまま放置すると、温度センサーが正しくはたらかなくなり異常燃焼の原因になります。 <p>お願い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パーナーキャップは金属タワシ、金属ブラシ、ナイロンタワシなどの硬いものでこすらないでください。表面の黒色はがれやすくなります。 (万一、黒色はがれたとしても使用上問題はありません。) ・温度センサーのお手入れのとき、強い衝撃を与えないでください。故障の原因になります。

故障かな?と思ったら

- 故障かな?と思ったらただちに使うのをやめて、まず次のことをお調べください。
故障かな?と思ったらよく調べると故障でない場合があります。

バーナーキャップ

●バーナーキャップが傾いたり、歪んだりしていませんか?
●点火装置、立消え安全装置が溶けていませんか?
●点火装置、立消え安全装置が溶けていませんか?



点火しにくくなったり、炎が安定しにくくなったり、黄炎で燃えたりします。

ガス栓

- ガス栓を開け忘れていませんか?
- ガス栓が十分に開いていますか?



全開にする

点火しにくくなったり、途中で消えたりします。

- それでも直らないときは一度次のことをお調べください。

現象：ガスまたはいやなにおいがする

- 無こぼれや、風などやが消えていませんか?
(立消え安全装置で自動的にガスを止めますが、完全に止まるまで数秒かかります。)

●点火/消火ボタンを「止」の位置にし、ガスのにおいがなくなってから再度点火操作をしてください。

ご注意

ガスまたはいやなにおいがする場合は、ただちに使うのをやめ、ガスを閉じてから原因をお調べください。(原因がわからない場合は、3ページの「ガス事故防止のために」の項に従って処置をしてください。)

故障かな?と思ったら

現象：点火しない・点火しにくい

- 乾電池が消耗していませんか?

電池確認ランプ

●チャオバーナー使用時...電池が消耗してきたら、電池確認ランプが点滅します。さらに電池が消耗してくると、電池確認ランプが点滅し、点火しようとしても点火できません(ピーピー)でお知らせします。

電池確認ランプ

●標準・グリルバーナー使用時...目安として、「バチバチ」というスパークの音が1秒間に約2回ぐらいの割合になります。

●電池が消耗しています。新しい乾電池と交換してください。

●詳しくは7ページ「乾電池の取り付け・取りはずし」をご覧ください。

●点火ノズルを止まるまでしばらく押し続けていますか?

●数秒押し続けましたか?

→8ページ「点火のしかた」をご覧ください。

現象：使用中に消火した・消火しやすい

立消え安全装置について

- バーナーに風が当たっていませんか?
- 無こぼれがバーナーにかかっていますか?
- 立消え安全装置に蒸気はけや水滴がついていませんか?

チャオ(温度センサー付)バーナーについて

- 鍋が焦げたり、油が熱くなっていませんか?
- 温度センサーが溶けていませんか?
- 鍋底が凸凹していませんか?
- 火をつけてから2分間以上たっていないませんか?

焦げつき消火機能、天ぷら油過熱防止機能(安全機能)、コンロ安全タイマーがはたらき、自動的にガスを止めます。

安全機能については10ページをご覧ください。

次のような現象は故障ではありません

- はじめでグリルをお使いのとき、煙やにおいがでる。
部品についている油が焼けるためです。7ページをご覧になり、から焼きをしてください。
- バチバチとすべての点火装置で音がする。
同時点火方式となっていますので、1ヶ所の点火装置ですべての点火装置がバチバチとスパークします。
- 点火後や消火後にキシミ音が出る。
加熱や冷却される際に、金属が膨張・収縮して起こる音です。
- コンロとグリルを同時に使うと炎が赤色になる。
食物の煙が(ナトリウム)や水中に溶解しているカルシウムによるものです。

- 以上のことをお調べになっても、なお異常のあるときや、おわかりにならないときは、お買い求めの販売店またはもよりの「東京ガス」(別紙事業所一覧)にご連絡ください。不完全な処置や異常がある状態を使い続けると事故のもとになります。

HR-A024P-HLA<LG2201SLTG>
HR-A024P-HRA<LG2201SRTG>

1 7 1 2 5 2 4
1 7 1 4 5 2 3 13111

アフターサービス

サービスのお申し込み

- 17・18ページの「故障かな?と思ったら」の項を見てもう一度ご確認ください。
 - 確認のうえ、それでも不都合な場合、あるいはご不明な場合はご自分で修理なさらないでお買い求めの販売店・ガス供給業者またはもよりの「東京ガス」別紙(事業所一覽)にご連絡ください。
- なお、ご連絡いただくときは、次のことをご知らせください。

1. 品名……………ガステーブル
2. 商品コード……………HR-A024P-HLA・HRA
機器コード……………Lタイプ 171924・Rタイプ 1714523
3. 現象……………(できるだけ詳しく)
4. お客様名、住所、電話番号、道順……………(できるだけ詳しく)

転居される場合

ガスには都市ガスは種類およびLPガスの区分があります。

- ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので転居先のガスの種類をご確認のうえ、お買い求めの販売店、またはもよりの転居先のガス供給業者にご連絡ください。
- この場合、調整・改造に要する費用は保証期間中でも有料となります。
- ガスの種類によっては調整・改造できない場合があります。

保証書

取扱説明書のP.21が保証書になっています。

- 保証書に記載のように、製品の故障について、一定期間・一定条件のもとに修理いたします。保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、大切に保管してください。
- 無料修理期間経過後の修理については、お買い求めの販売店、またはもよりのガス供給業者にご相談ください。修理によって性能が維持できる場合は有料修理します。

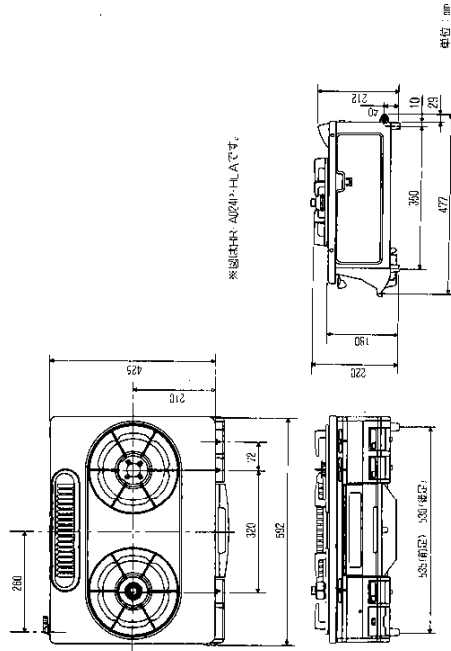
補修用性能部品の最低保有期間

- 補修用性能部品の最低保有期間は、当該製品の製造打ち切り後5年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。その後の修理は補修用性能部品がなく、修繕できない場合がありますので、ご了承ください。

※性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

仕様

仕様



品名	ガステーブル		
商品コード	HR-A024P-HLA	HR-A024P-HRA	
型式名	LG2201SLTG	LG2201SRTG	
点火方式	連続スパーク点火		
安全装置	立消え安全装置、チャオバーナー側・天ぷら油過熱防止機能、焦げつき消火機能、コンロ安全タイマー		
付属品	取扱説明書(保証書付)、乾電池(単一1.5V2個)・事業所一覽表、ゴム管ホルダー		
外形寸法	高さ180mm×幅592mm×奥行477mm		
重量(本体)	11.5kg		
使用ガス	1時間当りのガス消費量		
使用ガスグループ	個別ガス消費量	全点火時	
	チャオバーナー	グリルバーナー	ガス消費量
額外	4,000	1,700	7,800
ガス	3,700	1,600	7,300
13 A(kcal/h)			φ9.5mm
12 A(kcal/h)			ガス用
			ゴム管

取扱説明書

HR-A024P-HLA<LG2201SLTG>
HR-A024P-HRA<LG2201SRTG>

1 7 1 2 5 2 4
1 7 1 4 5 2 3 13121



保証書

型式名 LG2201SLTG
LG2201SRTG

品名 HR-A024P-HLA ガステーブル
HR-A024P-HRA

上記機器をお買い上げいただきましたこととさせていただきます。この保証書は東京ガス供給区域内において都市ガス用として、ご使用になる場合本保証書記載内容で無料修理をお約束するものです。

記

- (1) 保証期間は、お買い上げの日から1年間とし機器本体を対象とします。
- (2) 万一故障の場合はお買い上げの店、もしくはもよりの東京ガスへお申し出ください。原則として出張修理をいたします。
- (3) サービス員が参上した時に本証書をお示しください。
- (4) 保証期間中でありましても次の場合には有料修理といたします。
 - (イ) 取扱説明書によりならぬ使用により高圧した場合
 - (ロ) お買い上げ後の取付場所の移動、落下等による故障および損傷
 - (ハ) 火災、天災、地震等による故障、その他不可抗力による故障
- (ニ) お買い上げの店、あるいは東京ガスに、ご連絡なしに改造された場合。ただし、当社都合の場合にはのぞきます。
- (ホ) 機器に表示してある以外のガスでご使用のため改造された場合。ただし、当社都合の場合にはのぞきます。
- (ヘ) 本証書を紛失された場合
- (ニ) 無料修理やアフターサービス等について、ご不明の場合はお買い上げの店または、もよりの東京ガス支社・営業所にお問い合わせください。

お買い上げ日	年	月	日
販売店名	東京ガス株式会社 東京都港区海防1丁目5番20号 電話 03 (3433) 2111		
住所	東京都港区田町6丁目2番35号 電話 0729 (63) 9800		
電話番号	保証責任者 株式会社 A-V-J		

お客様へ
 1. この保証書をお取りになる際にご注意ください。保証期間は、機器本体の故障を対象とさせていただきます。
 2. 保証期間中の修理費用は東京ガスが負担いたします。ただし、保証期間外の場合はお客様が負担いたします。
 3. 保証期間中に修理が必要となった場合は、必ずお買い上げの店または、もよりの東京ガスへご連絡ください。
 4. この保証書に基づいて、お客様の法的権利を制限するものではありません。

年	月	日	修理内容	サービス員印

販売店名

製造者 ハーモン株式会社 東京都港区高田馬場3-35-2 高田馬場第二ビル
電話 03 (3395) 8180 〒168
株式会社 A-V-J 東京都中央区田町6-2-35
電話 0729-63-9800 〒578

※ご使用に際しての機器に関するお問合せは、ご使用地区の営業所または販売店にお願います。

M1101

機	種	番	号	機	種	番	号
1	7	1	4	5	2	3	1
1	3	1	3	1	3	1	1

ガステーブル
ガステーブルコンロ

PL法対応

取扱説明書

別冊

特に注意していただきたいこと

- この「取扱説明書・別冊」は、機器を安全に使用していただくために、必ず守らなければならない項目を記載しています。使用前に必ずお読みいただき、内容を十分ご理解のうえ、使用してください。
- また、別添の「取扱説明書」には正しい使用方法を詳しく記載しています。別添の「取扱説明書」についても、ご使用前に必ずお読みいただき、正しく使用してください。

ごあいさつ

このたびは、弊社のガス機器をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。別添の「取扱説明書」および「保証書」についても、この「取扱説明書・別冊」と共に大切に手元に保管してください。本書を紛失された場合や、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。

※機器イラストは、実際の機器と異なることがあります。 T861

安全に正しく使用していただくために必ずお読みください。

☆ここに示した注意事項と絵表示は機器を正しく安全に使用していただき、お客様や他の人々への危険や、財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

☆誤った取り扱いや設置により生じる危害・損害の程度をつぎの三つに区分しています。

	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる内容を表示しています。
	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表示しています。
	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を表示しています。

※ここでの「人」とは、使用者のみでなく、その家族・来客者も含みます。

☆注意事項の絵表示と意味はつぎのとおりです。

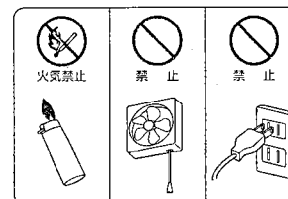
絵表示	意味
	上記表示項目を守らなかった場合に起こりうる現象を表します。
	一般的な「危険」・「警告」・「注意」
	高温注意
	発火注意
	一般的な禁止
	火気禁止
	分解禁止
	接触禁止
	必ず行う
	電源プラグを抜く

危険

■ガス漏れ時の処置について

ガス漏れに気付いたときは、右記①～③の処置を行う。
また、絶対に火をつけたり、電気器具(換気扇など)のスイッチの「入・切」や電源プラグの抜き差しおよび、周辺の電話を使用しない。

火や火花で引火し、爆発事故を起こすおそれがあります。



① すぐに使用をやめ、機器のガス栓を閉じる。



閉じる

② ガスを外に出す。(窓や戸を開ける。)



ガスを外に出す

③ 販売店または、もよりのガス事業者へ連絡する。



連絡する

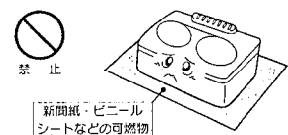
※周辺の電話は使用しないでください。

警告

機器の設置について

●新聞紙、ビニールシートなどの可燃物を機器の下に敷かない。

火災のおそれがあります。



禁止
新聞紙・ビニールシートなどの可燃物

●ハイカロリーバーナーまたはチャオバーナーは壁側に設置しない。

火災のおそれがあります。

※2口以上のコンロは左右いずれかが、ハイカロリーバーナーまたはチャオバーナーになっています。



禁止
チャオバーナー/ハイカロリーバーナー

警告

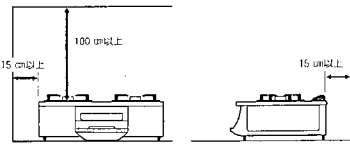
機器コード番号 171452313141

警告

機器の設置について

- 機器設置の際、壁などの可燃物との離隔距離を確保しているか確認する。
※右図を参照してください。

● 可燃性の壁に直接タイルやステンレス板を貼り付けた場合でも伝熱のため可燃物が炭火し、火災となるおそれがありますので注意してください。

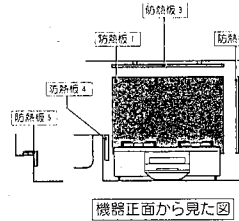


確認

- 可燃性の壁との距離が確保できない場合は、防熱板を取り付ける。

※防熱板には右図のような種類があります。
※防熱板は別売品です。

- 防熱板は必ず指定品を使用する。
- お買い求めの販売店でお求めください。
- 防熱板は取付説明書に従い、正しく取り付ける。
- ※取付説明書は別売の防熱板に付属されています。



機器正面から見た図

☑ 火災のおそれがあります。

わからない場合や不明な点があればお買い求めの販売店または、もよりのガス事業者にお問い合わせください。

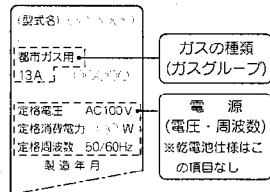
- 必ず銘板（機器の右側面に貼付）に表示してあるガス（ガスグループ）および電源（電圧・周波数）を使用する。
※乾電池を使用している機器には電源（電圧・周波数）の項目は記載していません。

☑ 火災、不完全燃焼、爆発点火のおそれや機器の故障の原因になります。

- 転居された場合も、供給ガスの種類・電源が銘板の表示と一致していることを確認してください。
※ガスの種類には都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスにはガスグループの区分があります。

わからない場合やご不明な点があればお買い求めの販売店または、もよりのガス事業者に連絡してください。

銘板 (例) 都市ガス用 13Aの場合



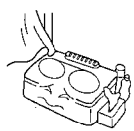
確認

- 機器の上や周囲に燃えやすいもの（新聞紙、ティッシュ、カーテン、ふきんなど）を近づけない。

☑ 火災のおそれがあります。



発火注意

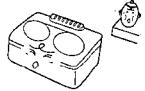


- 機器の周囲にスプレー缶を置かない。

☑ 熱でスプレー缶の圧力が上がり爆発するおそれがあります。



禁止



- 機器を設置した後の機器周囲の改装（吊り戸棚を取り付けるなど）については、お買い求めの販売店に相談する。

☑ 火災のおそれや設置基準上問題になるおそれがあります。

- 引火性の危険物（ガソリン・灯油・ベンジン・接着剤など）を機器の周囲で保管したり、取り扱う室内には設置しない。

☑ 火災のおそれがあります。

警告

機器の取り扱いについて

- 火をつけたまま離れたり外出・就寝しない。

☑ 火災のおそれがあります。

※特にグリル使用中は注意してください。魚が燃え上がることがあります。



禁止

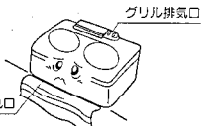


- グリル排気口の上にふきんなどをのせたりふさいだりしない。
- コンロ下の空気取り入れ口をふさがない。

☑ 火災、不完全燃焼のおそれがあります。



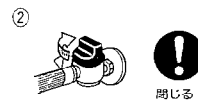
禁止



- 使用中に異常燃焼、異常音、臭気など感じられたときや地震、火災などの緊急の場合は次の手順に従ってあわてずすみやかに処置する。

①バーナーの火を消す。（器具控を「消火」の位置にする。）

②ガス栓を閉じる。



閉じる！

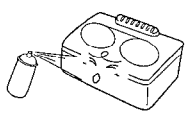
- 再使用の場合は、別添の『取扱説明書』に従い機器を確認し、わからない場合はお買い求めの販売店または、もよりのガス事業者へ連絡する。

- 機器の周囲でスプレー、ベンジン、ガソリンなど引火のおそれがあるものを使用しない。

☑ 火災、不完全燃焼のおそれがあります。



禁止



- 火をつけたまま機器を持ち運ばない。

☑ 火災や、やけどのおそれがあります。

- 小さなお子さまだけで使用させない。

☑ 火災・やけどのおそれや、思わぬ事故の原因になります。

機器の設置について

注意

- 照明器具など耐熱性の低い樹脂製の下には設置しない。

☑ 照明器具などが変形したり、変色したりします。

- 安定した水平で丈夫な場所に設置する。

☑ 調理中のなべなどがすべり落ちて、やけどのおそれがあります。

- ゴム管はガス用ゴム管でJISマークが入っているものを使用する。
※ゴム管には都市ガス用とLPガス用がありますので使用ガスに合ったゴム管を使用してください。

☑ ガス漏れの原因になります。



- お手入れ時は、手袋などで指先を保護し、機器が十分冷えてから行う。
- 各部品の突起物に注意し、お手入れを行う。

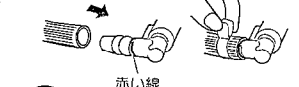
☑ けが・やけどのおそれがあります。

- バーナーキャップを水洗いした後は水気をよく切ってからセットする。

☑ 異常燃焼や故障の原因になります。

- ゴム管は赤い線まで差し込んで、必ずゴム管止めでしっかり止める。

☑ ガス漏れの原因になります。



赤い線

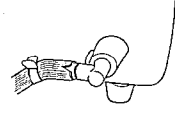


- ひび割れたり、差し込み口がゆるくなったゴム管は使用しない。

☑ ガス漏れの原因になります。



禁止

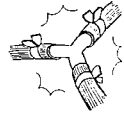


- ゴム管の継ぎたしや二又分岐はしない。

☑ ガス漏れの原因になります。



禁止



注意

機器コード
171452313151

注意

機器の取り扱いについて

- ガス事故防止のために
- 使用時の点火、および使用後の消火を必ず確かめる。
- 使用中も正常に燃焼していることを確かめる。
- 外出や就寝の際には消火を確かめ、必ずガス栓を閉じる。



閉じる



- ゴム管はときどき点検する。
(約6ヶ月ごと)
- ・ひび割れていないか。
- ・差し込み口がゆるくなっていないか。
- 古くなったゴム管は新しいゴム管に取り替える。

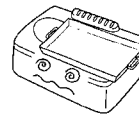
☑ ガス漏れの原因になります。

- コンロをおおうような鉄板や直径34cm以上のなべは使用しない。

☑ 不完全燃焼による一酸化炭素中毒のおそれや機器の異常過熱の原因になります。



禁止

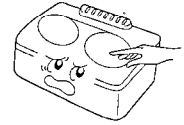


- 使用中、使用直後は操作部以外はさわらない。

☑ やけどのおそれがあります。

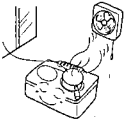


接触禁止



- 使用中は窓を開けたり、換気扇を回すなど必ず換気を行う。

☑ 他の燃焼機器と同時に使用した場合など不完全燃焼による一酸化炭素中毒のおそれがあります。

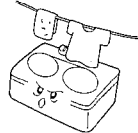


- 衣類の乾燥や炭火をおこすなど調理以外の用途に使用しない。

☑ 火災のおそれや機器焼損の原因になります。



禁止

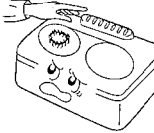


- 点火操作時や使用中は、バーナー付近に顔や手、衣類などを近づけない。

☑ 衣類が燃えたり、やけどのおそれがあります。



禁止

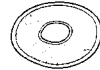


- この機器専用の付属品あるいは、指定のもの以外は使用しない。
- 市販されているアルミはく製する受け皿は使用しない。

☑ 不完全燃焼による一酸化炭素中毒のおそれや機器の異常過熱の原因になります。



禁止



- 強火で使用する場合、やかんやフライパンなどの取っ手に注意し、火力を調節する。

☑ やけどや取っ手部分の破損の原因になります。

- なべやフライパンなどの取っ手に注意。
※熱くなっている場合があります。

☑ やけどのおそれがあります。

■グリル付きコンロをご使用の場合

- グリルを使用するときは、グリル水入れ皿に必ず水を入れる。
- 焼けて使用するときは、その部屋、必ず水を足す。

☑ 火災や異常過熱により、機器が焼損するおそれがあります。

- グリルとひらに強い力を加えたり、物をぶつかけたりしない。

☑ けがのおそれやグリルとひらが変形する原因になります。

- グリル水入れ皿に水以外のものを入れない。
- アルミはくや市販のグリル石などをグリル水入れ皿に入れて使用しない。

☑ 火災のおそれや機器焼損の原因になります。

- グリル内に食品屑、布などがあると発火するため、使用前に必ず点検する。

☑ 火災のおそれがあります。

注意

機器の取り扱いについて

■グリル付きコンロをご使用の場合

- グリル使用中および使用直後は、グリル水入れ皿の水が高温になっているため、グリル水入れ皿を持ち運ぶ際は、こぼれないように注意する。
- グリル使用中および使用直後は、グリルガラスに水をかけない。

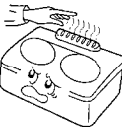
☑ やけどのおそれやグリルガラスが割れてけがをするおそれがあります。

- グリル使用中は、グリル排気口から高温の排気熱が出るため、手や顔を近づけない。

☑ やけどのおそれがあります。



高温注意



- 魚を取り出すときなど、グリルとひらやガラスにさわらない。
- グリル水入れ皿を引き出すときは、グリルとひら取っ手以外さわらない。
- ※専用のグリル用取っ手が付属の場合は、必ず専用のものを使用する。

☑ やけどのおそれがあります。



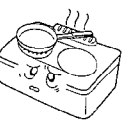
接触禁止

- なべやフライパンの取っ手をグリル排気口に向けて使用しない。

☑ 取っ手部分が過熱され、破損ややけどの原因になります。



禁止



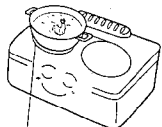
■温度センサー付きコンロをご使用の場合

- 油料理は必ずセンサー付きバーナーを使用する。
- ※センサーが付いていないバーナーは、たぶら油過熱防止機能がはたらきません。

☑ 火災のおそれがあります。



【センサー付きバーナー】



お願い

危険・警告・注意の項目以外で特に守っていただく項目

機器の設置について

- 冷風扇装置の吹き出し口の近くや、強い風が吹き込む場所には設置しないでください。

火が途中で消えたり、不完全燃焼の原因になります。

- 試運転完了後、機器を長時間使用しないときは、必ずガス栓を閉じてください。(AC100V電源を使用する機器は電源プラグを抜いてください。)

機器の取り扱いについて

- 長期間使用しない場合は、ガス栓を閉じてください。
- 各部の汚れを取り除き、ほこりや異物が入らないようにビニールなどをかけてください。
- 乾電池を乾電池ケースより抜いてください。乾電池の液漏れにより、機器をいためる原因になります。
- AC100V電源を使用する機器の場合は、電源プラグを抜いてください。



電源プラグを抜く!

- 本機器は家庭用ですので、業務用として使用しないでください。
- 害しく寿命が短くなります。

- 機器の分解は絶対にしないでください。
- ガス漏れや故障の原因になります。



分解禁止

- 乾電池を使用する機器の場合
- 乾電池の(+)、(-)の方向を間違えないでください。
- 点火できなくなります。

- 乾電池は古いものと新しいものを混ぜて使用しないでください。
- 破裂や液漏れの原因になります。

- AC100V電源を使用する機器の場合
(使用電源は別添、「取扱説明書」の「仕様」の項目を参照してください。)
- 雷時は電源プラグを抜いてください。
- 電子部品が故障する原因になります。



電源プラグを抜く!

- 電源コードを引っぱって電源プラグを抜かないでください。
- 電源コードの断線(芯線の一部)による発熱や発火の原因になります。

- 電源プラグは濡れた手でさわらないでください。
- 感電のおそれがあります。

- 電源プラグがほこりや油で汚れていないか、差し込みが確実か、確認してください。
- 火災や感電のおそれがあります。